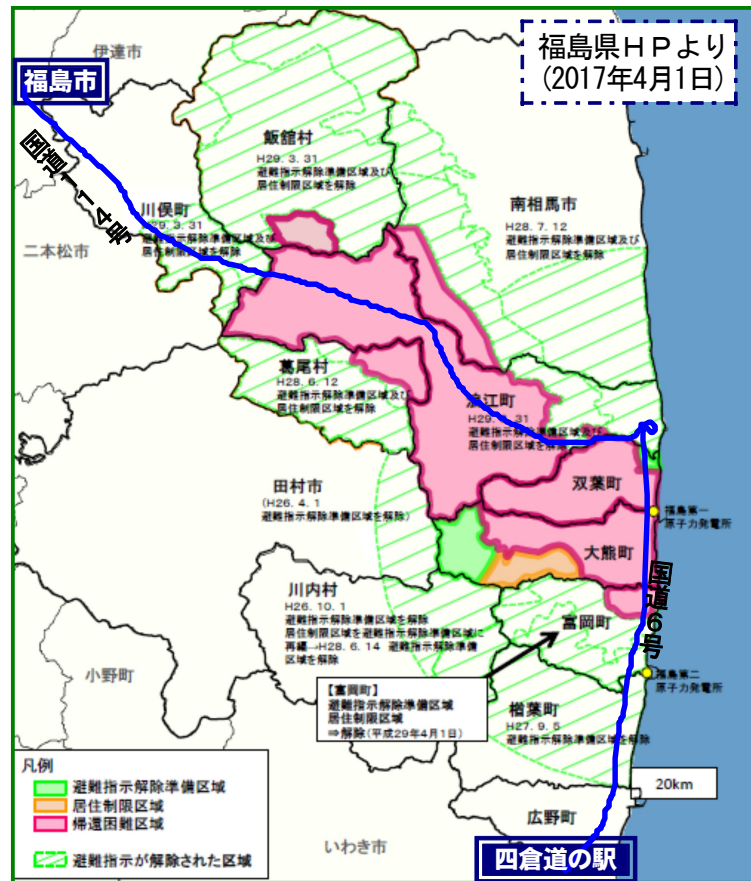




2018年7月15日（日）・7月16日（月・祝日）
第6回 福島を忘れない!全国シンポジウム・現地見学(予定)

【4月22日の第8回総会より受付けをはじめます。詳細は5月中に決定】
【新宿から往復バス1台、16日は福島往復バス1台を予定】



◎ 7月15日 全国シンポジウム
会場：ホテル福島グリーンパレス
時間：13時30分～16時30分
シンポジウム終了後に交流会。

◎ 7月16日 現地見学
午前7時30分 ホテル出発

行程（変更の可能性もあります）
 福島市 …… 川俣町 …… 山木屋地区
 （川俣町） …… 浪江町（請戸地区） ……
 …… 双葉町・大熊町 …… 富岡町（昼食）
 …… 楢葉町 …… 四倉道の駅（いわき市）
 ・ 四倉道の駅 …… 福島（現地バス）
 ・ 四倉道の駅 …… 東京

※ご留意事項

- ・東京往復バス：スバルビル前7時集合。
- ・現地見学は、四ツ倉道の駅に16時到着を予定しています。そこで福島市、東京行きに分かれ、岐路につきます。交通事情で変更あります。

脱原発大賞を受賞しました

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟が呼びかけた脱原発大賞に、当会も応募をしました。自治体における新電力の導入や、福島を忘れない！全国シンポ、原発立地自治体、30キロ圏自治体への請願・要請行動など、これまでの取組みを報告。

応募は脱原発大賞に31団体、自然エネルギー大賞に25団体からあったとのこと。

先日、共同代表に入賞の連絡がありました。詳細は3月7日に明らかになります。これを励みに、さらに躍進しましょう。

今後のスケジュール

◆3/10(土) 逃げよ 生きよ 7年目の3・11
 ‘原発避難者と仲間たち全員集合！大集会デモ’
 ばしょ: 大阪中央会館1Fホール
 じかん: 13時30分(集会開始)
 16時30分デモ出発、18時交流会

◆3/11(日) 第54回東京電力本店抗議行動
 ばしょ:東京電力本社前
 じかん:13時30分～15時
 ※この後、東海第二原発再稼働に反対する日本
 原電本店前抗議行動を行います。
 ばしょ:神田美土代町1-1小川町交差点近く
 じかん:15時30分～16時30分

◆4/22(日) 大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会
主催：オール福井反原発連絡会
ばしょ：うつぼ公園(大阪市西区)
じかん：15時～16時30分(デモ出発：15時15分)

原発やめようニュース
反原発自治体議員・市民連盟

NO. 28 2018年3月

4月12日
全国自治体議員
の会からの要請

東海第2原発立地自治体・30キロ圏自治体に対する
 請願行動への参加と賛同のご協力をお願いします

住民の納得を得られなかった説明会

日本原子力発電は2月3日、東海第二原発の運転期間延長申請後はじめて住民説明会を東海村で開きました。原電の担当者は「（再稼働の是非を）判断する段階ではない」とし、また3月中に周辺6市村と締結する見通しの事前同意権に対する質問には明確な説明を避けました。

説明会は、同原発周辺の15市町村で順次実施されつつあります。説明では、住民が不安な避難計画、老朽原発の安全対策、放射性廃棄物の処理等に納得できる説明は聞けませんでした。

避難計画はムリ！安全対策もない！

30km圏内に98万人、50km圏内には144万人が暮らす現状で、実効性ある避難計画がたてられない実態です。東海原発に隣接し東海再処理工場が存在し、大量の放射性廃棄物が満杯状態で放置されたままであることが報道されました。

原電は廃炉に必要な1800億円の積立金を使っ
てしまい、安全対策費1740億円が独自に調達で
きず事故の際の補償も不可能です。東海第二原
発は3.11で被災し損傷した老朽原発です。老朽
化した電線ケーブルの対策も不十分なままです。

原発事故を起こせば首都圏が被災する

茨城新聞は房総半島沖に、長さ160kmと300km以上の活断層が存在すると報道しました。地震学者によれば、地震でできた崖は東側の活断層

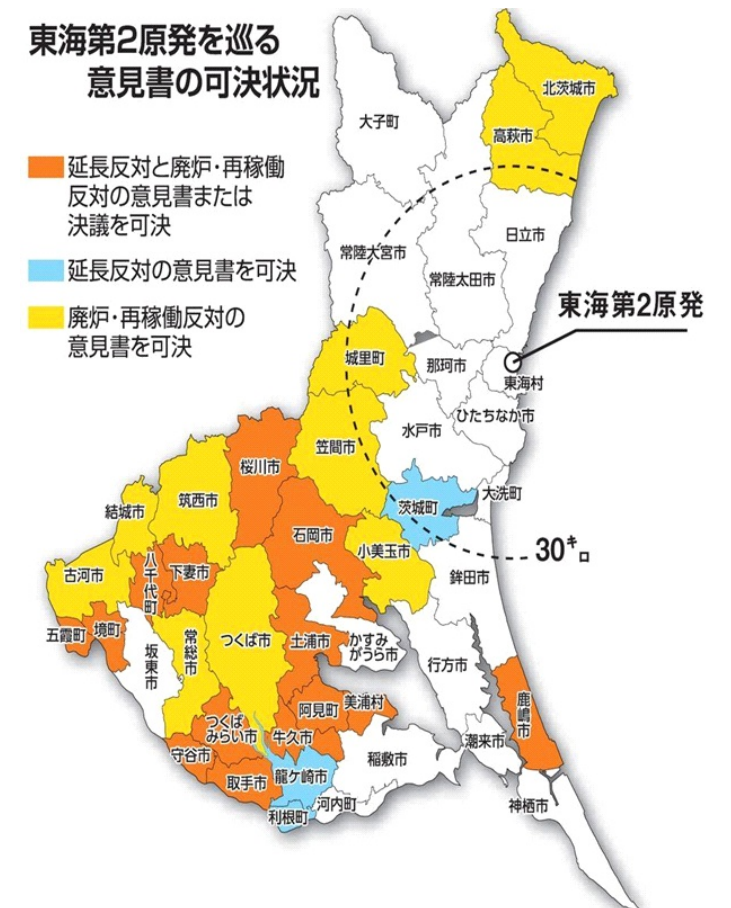
反原発自治体議員・市民連盟

共同代表 佐藤英行(北海道岩内町議会議員)
野口英一郎(鹿児島市議会議員)
福士敬子(元東京都議会議員)
武笠紀子(元千葉県松戸市議会議員)

〒168-0072
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301
TEL/FAX 03-5936-0311
<http://nonukesjapan.org/>
郵便振替 00110-7-449067

東海第2原発を巡る 意見書の可決状況

- 延長反対と廃炉・再稼働反対の意見書または決議を可決
- 延長反対の意見書を可決
- 廃炉・再稼働反対の意見書を可決



で2000m、西側に3000mあり、いずれも大地震を何度も繰り返してきた可能性が高いとのことです。基準津波を17.1mとし、また放流物の重量を50tとした防潮堤では、船舶に対応できるのか、専門家から疑問が出されています。

事故を起こせば東京が被災する首都圏の原発です。4月12日、30キロ圏自治体に対し、住民の安全を守る責任を求める請願を提出します。全国からのご賛同をお願いいたします。

3月中旬大飯3号機、5月4号機の再稼働を許すな

関西電力は、3月13日に大飯原発3号機の再稼働準備を進めています。4号機は5月中旬に再稼働させる計画です。すでに2月13日に原子炉への核燃料の装填は終わっています。

関電は当初1月中旬に再稼働する予定でしたが、神戸製鋼の製品データの改ざん問題や、三菱マテリアル子会社製のゴム製品の改ざんなどの影響で再稼働時期を延期していました。

3月25日—26日に、若狭の原発を考える会の呼びかけで、大飯原発の再稼働に反対する大規模なビラまき宣伝（アメンバー行動）が呼びかけられました。自治体はどこも第1回定例会の会期中で厳しい時期ですが、関西ブロックからは二木洋子さん、地元高島市議の是永

さん、東京からも市民が参加。関西の皆さんが力を合わせ延べ100名規模で若狭一帯に再稼働反対の声を響かせ、辻々で励ましをいただきました。



12月3日のおおい町での集会後のデモ。沿道に出てきて手をふる方もいて、嬉しくなりました

1月20日—21日伊方原発現地で熱気にあふれる行動

1月20日、四国電力のPR館のすぐ近くで、高いノボリ型の広告塔（「キリン」の様だと言われています）と大きな横断幕（クジラ）をいくつもならべ、250人が「伊方原発廃炉！」のシュプレヒコールを響かせました。

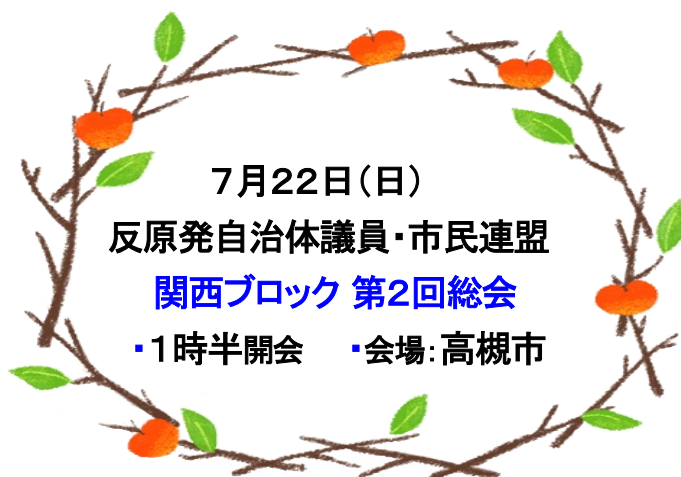
八幡浜市の齊間淳子さんの開会のあいさつに続き、歌とスピーチが交互になされ、柳田真事務局長から「再稼働されたら反対運動は沈下すると電力会社は思っていたが、四国の皆さんの力で伊方原発の再々稼働にこのような大きな行動が実現できたことは画期的」と評価、「東京でも東京圏の原発、日本原電の東海第二原発再稼働反対の運動を盛り上がらせる」と表明。関西ブロックからは二木洋子さんが取り組みを報告しました。現地集会のあと市民会場で木幡ますみ大熊町議から福島の実況が報告されました。

翌日は、伊方原発ゲート前での集会、戸田ひさよし門真市議から伊方に初参加できた熱い思いが語られました。集会後、「伊方原発は国策だけど私たちの声で止めることができる！」と

いうビラを町内、一軒一軒に配り、励ましをいただきました。「再・再稼働を許さない」という新たな運動が作り出されたことは、反原発運動の今後に心強いことです。



1月21日、伊方原発ゲート前での抗議行動



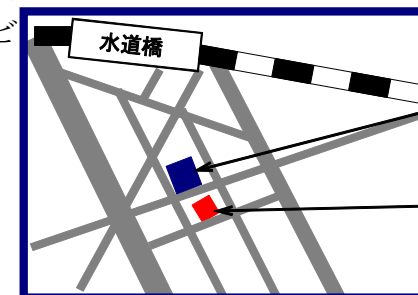
2018.4.22 第8回定期総会 ご案内

◆日時:4月22日(日)14時開始 13時半開場

◆会場:たんぽぽ舎4階

東京都千代田区三崎
町2-6-2ダイナミックビル

◆参加費:500円



日本大学
たんぽぽ舎

《次第》

①第8回総会議事
(2017年活動・決算, 2018年方針・予算, 人事)

②特別講演
菊地洋一氏『原発をつくった私が、
原発に反対する理由』

③特別報告

講師のご紹介



◎1973年から1980年の7年間、福島第一原発と東海第二原発の建設に関わる。自分の目で生の現場をつぶさに見てきた経験と、50歳以降の20年近い人生を反原発運動に捧げている。菊地氏の言葉にはどれも重みと説得力がある(書籍は、現在絶版)

第6回福島シンポの取組みについて 福島被害自治体議員と意見交換会をもちました

昨年12月23日、次回の福島シンポについて、当該自治体議員との意見交換会を行いました。川俣町からは菅野清一町議、佐藤喜三郎町議、飯舘村は佐藤八郎村議、渡邊計村議、初当選された若手の高橋清美村議、大熊町は木幡ますみ町議、伊達市からは菅野喜明市議が、お忙しい中ご参加いただきました。東京からは、福土共同代表、柳田事務局長、けしば事務局次長、門間羽村市議、布施清瀬市議、新城杉並区議が参加し、第6回シンポの取組みを相談しました。

2017年第5回シンポジウムは、被曝の実況について現地と全国の認識を深めることをテーマに行いました。帰還指示が出された飯舘村、川俣町、葛尾村、大熊町などの厳しさは変わりません。様々な交付金（金にあかせて）を使い帰

還を迫る国の対応と、それを是と受け入れる各自治体の首長や議会の現状に対し、住民の命と暮らしを守るために、孤軍奮闘する皆さんのご苦勞をお聞きしました。今年の福島シンポには、全国からご参加くださるようお願いしています。

